

第20回
さがの映像祭

SAGANO DEAF MOVIE FESTIVAL in KYOTO

2024.2.11日

[対面会場] ヒューリックホール京都

13:00開演(受付12:30~)

[主催]第20回さがの映像祭実行委員会 [協賛]社会福祉法人全国手話研修センター 認定NPO法人障害者放送通信機構
[特別協賛]公益財団法人京遊連社会福祉基金 [後援]一般財団法人全日本ろうあ連盟



第20回さがの映像祭へようこそ！

本日は、記念すべき第20回さがの映像祭のために、公私ともご多忙のところご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

元旦の能登半島地震により、犠牲となられた方々に謹んでお悔やみ申し上げ、また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

2020年より新型コロナウイルス感染症の影響で本映像祭もオンラインでの開催が続きましたが、4年ぶりの対面集合により開催出来ましたことを喜び合いたいと思います。また、ハイブリット形式でオンラインでもご参加いただけます。

本映像祭では、特別企画として深川勝三監督生誕100年記念の秘蔵映像を公開します。昭和時代の様子をご存じない方もおられると思いますが、移り変わる時代に期待を膨らませながら楽しんでいただけるよう企画いたしました。メイン企画の映像作品コンクールには、27作品の応募がありました。制作に携わった方々のご苦労とご努力に感謝申し上げ、皆さんとともに鑑賞させていただきたいと存じます。

最後になりましたが、本映像祭のご感想をお知り合いの方々にお伝えいただき、更にきこえない・きこえにくい人の映像制作の機会が広がることを期待し、ご挨拶とさせていただきます。

第20回さがの映像祭実行委員会
委員長 高山 正紀



今映像祭の3つのポイント！

- 1 深川勝三監督生誕100年
- 2 2月11日は深川監督の命日
- 3 会場は日本映画発祥の地



手話ナビゲーター

村上 信次
「目で聴くテレビ」キャスター



第20回映像作品コンクール 応募作品

さがの映像祭はろう者・難聴者の映画・映像制作の初心者からベテランが作品を応募できる、全国でも数少ないフェスティバルです。まさに映像監督・作家の登竜門です。今回の応募数は過去最高の27作品にものぼりました。ドラマ仕立てからコメディ、アーティスティックな映像までさまざまなジャンルが私たちの目を楽しませてくれます。(一般部門14作品・学生部門10作品・情報提供施設部門3作品、3月14日までWEBサイトにてご覧いただけます。)

大賞に選ばれるのはどの作品なのか、受賞が難しい深川勝三・睦賞の授与はあるのか…?今回の見どころとなっています。

WEBサイト・YouTubeにて配信中 ~3月14日木まで



一般部門(14作品)



難聴のママとアイドルを目指す娘の軌跡

菅 明菜／東京都
3分03秒／2023年

[テーマ]
難聴の母とアイドルを目指す娘の苦悩と努力。母から娘への思い。

[作品内容]
アイドルを夢みて、そのチャンスの1歩としてレッスンを受けられることになった娘。歌のレッスンの課題曲で壁にぶつかる。音程を教えられない私(母)。そこからふたりで考え努力して夢へと。母と娘の絆の物語。

[コメント・プロフィールなど]
YouTubeなどの短い動画編集はありますが、映像作品として作らせていただいたのは初めてです。色々障がいがあっても夢をあきらめないでほしい。そんな思いで作りました。娘の夢はたくさんの人を笑顔にしわ寄せができるアイドルさんになることです。



手話でたこ焼きが買った!

生駒市福祉センター 辰己 善彦／奈良県
3分55秒／2022年

[テーマ]
手話を覚えたてで不安だけども、勇気をもって一歩踏み出そう!

[作品内容]
手話を覚えたばかりのおばあちゃんのたこ焼き屋に、ろう者がお客様でやってきた。おばあちゃんは勇気を出して、しどろもどろしながらも手話で接客をしていきます。

[コメント・プロフィールなど]
さがの映像祭には過去に「Let's デフラダンス」を応募。現在は手話は言語であるということを啓発するために、生駒市福祉センター、生駒市聴覚障がい者協会、手話サークル(3団体)のメンバーで動画を作成し、生駒市福祉センターのYouTubeチャンネルにて配信しています。



3つの偶然

那須 元紀／東京都
20分00秒／2023年

[テーマ]
それは『必然』なのか。それとも『偶然』なのだろうか。

[作品内容]
それぞれの問題を抱えた3人の主人公たち。一見、関係はないものに見えるが、3つのある偶然によって3人の主人公たちはあるカフェに引きつけられるように集まる。そこで3人それぞれが見つけたものとは…。

[コメント・プロフィールなど]
処女作「五感」に続いて2作目が「3つの偶然」になります。自主映画制作歴はまだ浅いですが、自称映画オタクとして、これまで鑑賞してきた映画をベースに、SNSやインターネットなどの情報が氾濫している現代に生きる人として思うことを映画にしてみました!

一般部門



ヒゲの校長の仲間たち

聾宝手話映画 谷 進一／京都府
16分00秒／2023年

[テーマ]

手話の孤星を守った高橋潔こと「ヒゲの校長」その仲間の奮闘記

[作品内容]

高橋校長を支える大阪市立聾啞学校の教師たちのささやかな日常を描く。高橋潔が大阪にやってくるところから、車座の手話劇公演の舞台裏を軽快に描いています。

[コメント・プロフィールなど]

『手話刑事』でさがの映像祭に初参加、以来しばしばお世話になっております。今回、長編手話映画『卒業-スタートライン』『ヒゲの校長』公開して初めてスピノオフに挑戦しました。本編を見た人も見てない人も楽しめると想います。よろしくお願ひ致します。



手話で学ぶ アメリカンペアダンスin京都 ～ダンスでつながろう～

デフダンス関西 秋山なみ／京都府
12分14秒／2023年

[テーマ]

全部スマホで制作しました。音のないダンスの世界観によるこそ。

[作品内容]

デフダンス関西では今年度、京都市内で手話でアメリカン・ペアダンスを学ぼうという活動に取り組んでいます。ダンスを通して耳のきこえない人ときこえる人の交流を深めています。作品はハロウィンのときの映像です。

[コメント・プロフィールなど]

「映像作品を全部スマホで作ったらどうなるかな?」と思い、スマホだけで取り組んでみました。また、かなり前になりますが、映像の撮り方や編集について、目で聞くテレビ(CS障害者放送統一機構)主催の研修を全国手話研修センターで受けたことがあります。



幸福の王様

一般社団法人デフサポートかもめ
廣川博之 高田英充／兵庫県
14分33秒／2021年

[テーマ]

幸福の王様の元へ迷い込んだ青い目の白猫が起こした幸せとは。

[作品内容]

幸せな生涯を送り、眠りについた王様。善政をしいた王様を偲んで黄金の銅像が立てられました。数十年の歳月を経て、銅像の元へ一匹の猫が迷い込んできました。そこから物語が始まります。

[コメント・プロフィールなど]

手話動画マガジン、昭和を生き抜いた高齢の聾者の手話語りなどを制作しています。生きた聾者の手話を後世に残す事をモットーにしています。

一般部門



カウンター

伊藤徹也／大阪府
8分25秒／2023年

[テーマ]

正しさとは何かということ

[作品内容]

主人公はある日、自分のてのひらに数字が見えるようになった。そしてその数字が何を意味しているのかに気付き…。

[コメント・プロフィールなど]

趣味で短編の映像作品、四コママンガの製作等をしています。囲碁のマンガも描いています
(<https://tororoigo.web.fc2.com/>)

囲碁に興味のある方、よかつたら見てみてください…。



光の音色 -いつか拡がる明日を信じて-

由奈feat一文字鷹
中川真奈／京都府
5分31秒／2021年

[テーマ]

手話が拡がる未来のために、この歌を！

[作品内容]

手話を今世に残す為に尽力された高橋潔先生の心情を歌詞に込めました。

[コメント・プロフィールなど]

初めての作品です。とても良い作品が出来て、メンバー他、協力いただいた皆様に感謝しています。ぜひ覚えて拡めてください。宜しくお願ひします。



イタリア手話と日本手話で 「5W」を楽しく学ぼう！

Rudy Orlandini／京都府
1分31秒／2023年

[テーマ]

イタリア文化を日本手話とイタリア手話を通して伝えたいです。

[作品内容]

2人の主人公によって、5W(誰・何・どこ・なんで・いつ)を日本手話とイタリア手話の表現の違いを紹介しています。イタリア手話では、同じ手の表現で多様な意味を伝えることができ、そのユニークさを伝えます。

[コメント・プロフィールなど]

10歳の時、映像を作ることに興味を持ち、カセットテープのカメラで一人で動画を作り始めました。18歳の時から旅や街並み、風景を撮り、他の人とコラボしながら映像を作りました。4年前から日本に住み、日本とイタリアの文化や言語の違いに気づき、それを多くの人に伝えたいと思い、楽しく紹介できる映像を作るようになりました。

一般部門



私のパンの焼ける音(あいづ)

井上ミヨンジュ／東京都

7分00秒/2023年

[テーマ]

彼らの「見えない壁」が溶ける音(あいづ)。

[作品内容]

不慮の事故で両足の自由を失った男と生まれつき聞こえない少女。異なるハンデや異なる環境で生きている中で偶然に誰かを救う時がある。自分の価値観が揺さぶられた時、彼らは見えない壁を越えることができるのか。

[コメント・プロフィールなど]

制作歴3年。自身コロナ禍に突発性難聴を発症。早期治療で今は聞こえに問題ないが突然聞こえなくなる不安を抱え日々を過ごした経験とろう児の日常で起こった内容を題材に作成。現在、手話通訳士を目指し日々勉強中。



かしば手話のじかん

奈良県香芝市福祉部社会福祉課

高田智之 街好平／奈良県

2分6秒/2023年

[テーマ]

手話の理解、普及促進。

[作品内容]

手話による会話の様子、手話での単語表現の解説。

[コメント・プロフィールなど]

当市では初めて制作した手話普及動画です。



わたしたちについて

横尾友美／京都府

11分35秒/2023年

[テーマ]

手話で培った身体を通して非言語としての身体表現を追求した映像。

[作品内容]

他人の女性、少女を自分の母・娘のようにし、また年齢が異なる彼女達の身体を通して、未来、現在、過去を行き来するという実験的演出であるとの、一部説明を付けるだけで他は踊りのように見えるという意図を狙った。

[コメント・プロフィールなど]

ろう者『LISTEN』映画に出演したことがきっかけで身体表現に目覚める。映像、写真、舞台などでろう者としての感性、アイデンティティと結ぶ身体表現の活動を行う。踊る「創る」を並行して、身体によるオングル作曲提供やろう者と聴者ダンサーとのコンタクトなどのテーマで写真撮影、ろう者女性をテーマとした映画を作成中。扱うテーマは「オングル」「境界線」「感情」「解放」「身体の線」「女性」「LISTEN」映画出演(2016年)

「わたしたちについて」ろう者女性をテーマとした写真、映像個展(2023年10月)

一般部門



NEWS「KiRi」

「誰もがしぜんにやさしくなれるまちづくりを目指して」

亀岡市障がい福祉課

桂川孝裕 田中勇吾／京都府

5分59秒/2022年

[テーマ]

障がい福祉課職員がニュースキャスター!?
ニュース「KiRi(キリ)」

[作品内容]

News「KiRi」霧のまち亀岡より、今回はニュース形式で啓発動画を作成しました。

[コメント・プロフィールなど]

聴覚障がいにとどまらず、亀岡市の障がい福祉にかかる様々な情報を、ニュース番組形式でお伝えしています。



HOKAZONO

明晴学園小学部 竹村祐樹／東京都

4分56秒/2023年

[テーマ]

タイムスリップ

[作品内容]

未来に生きる人が過去に起きた事件を阻止しようという話。

[コメント・プロフィールなど]

今回はあえて手話を使わず、表情のみで表現しています。ぜひ注目してみてください。

学生部門(10作品)



濱松轟々連続殺人事件

～オレは父に殺された～

愛知県立名古屋轟学校

大石未羽／奈良県

16分07秒/2023年

[テーマ]

無差別殺人の犯人の轟々少年は被告人であり、被害者でもあった。

[作品内容]

戦前の犯罪史に残る「濱松事件」。自分の家族をも含め15名をメタ刺しにした犯人は轟々の少年だった。令和に生きる現役高校生が自分と同世代の極悪非道の反抗に及んだ犯人の心情に迫る短編映画。

[コメント・プロフィールなど]

「濱松轟々連続殺人事件～オレは父に殺された～」の短編映画をYouTubeのD miu movieのチャンネルで公開中、視聴7000回超え。

他に、「一つの終止符」の短編映画も制作。

学生部門



A・I・N・M

明晴学園小学部 岡 海尋／東京都
1分41秒／2023年

[テーマ]

明晴学園小学部の映画製作

[作品内容]

学校生活を題材にショートムービーを作成しました。

[コメント・プロフィールなど]

カメラワークや映像編集を含め、全9時間で、子どもたちだけで映画製作に取り組みました。



怪しい日

明晴学園小学部 田中 イヅキ／東京都
1分30秒／2023年

[テーマ]

明晴学園小学部の映画製作

[作品内容]

学校生活を題材にショートムービーを作成しました。

[コメント・プロフィールなど]

カメラワークや映像編集を含め、全9時間で、子どもたちだけで映画製作に取り組みました。



兄妹の下校時間

明晴学園小学部 黒川 茉桜／東京都
1分59秒／2023年

[テーマ]

明晴学園小学部の映画製作

[作品内容]

学校生活を題材にショートムービーを作成しました。

[コメント・プロフィールなど]

カメラワークや映像編集を含め、全9時間で、子どもたちだけで映画製作に取り組みました。

学生部門



今日、変な日

明晴学園小学部 片桐 友哉／東京都
1分40秒／2023年

[テーマ]

明晴学園小学部の映画製作

[作品内容]

学校生活を題材にショートムービーを作成しました。

[コメント・プロフィールなど]

カメラワークや映像編集を含め、全9時間で、子どもたちだけで映画製作に取り組みました。



出会い

明晴学園小学部 阿部 桜子／東京都
0分45秒／2023年

[テーマ]

明晴学園小学部の映画製作

[作品内容]

学校生活を題材にショートムービーを作成しました。

[コメント・プロフィールなど]

カメラワークや映像編集を含め、全9時間で、子どもたちだけで映画製作に取り組みました。



仲良し姉妹

明晴学園小学部 福田 凜希／東京都
1分26秒／2023年

[テーマ]

明晴学園小学部の映画製作

[作品内容]

学校生活を題材にショートムービーを作成しました。

[コメント・プロフィールなど]

カメラワークや映像編集を含め、全9時間で、子どもたちだけで映画製作に取り組みました。

学生部門



色人間

愛知大学文学部メディア芸術専攻上田ゼミ
上田 謙太郎 上田 真綾 中島 謙／愛知県
11分17秒／2023年

[テーマ]

色人間に出会ったら、イロイロな幸せが訪れる。

[作品内容]

大学生のワカナはパンクファッションのマアヤ先輩に憧れている。ある時、ワカナが見かけた「色人間」を探していると、幸せいそな学生たちに出会う。ついにワカナが「色人間」に出会った時、何が起きる？

[コメント・プロフィールなど]

入門手話で学ぶ単語を使って、ゼミ生が書いたシナリオをもとに、小津安二郎の映画のスタイルを模して撮影しています。同じ大学の手話サークルの先生に手話指導はもちろん演出にも加わっていただきました。スタッフ、キャストをすべてゼミの3年生が担っています。



ともに働く

同志社大学 大田竜聖／京都府
5分3秒/2023年

[テーマ]

伝えることで変えられる未来がきっとある。

[作品内容]

聴覚障がい者であることを公表しつつも、他の健常者と同じ環境で働いていたが、同僚の言葉によって職場の働き方改革を試みる会社員の話。

[コメント・プロフィールなど]

映像制作ほぼ初心者の3人が、少ない知識の中でどのように聴覚障害者の気持ちを映像で伝えられるかということを試行錯誤しました。



言語戦隊 手話ッチ★★

豊南高校手話部 川上天馬／東京都
3分29秒/2023年

[テーマ]

手話の環境は、聞こえない聞こえる関係なくみんなで守りたい！

[作品内容]

手話のヒーロー、言語戦隊「手話ッチ★★」が守ろうとするものとは何か！？実際の話を基にした戦隊ヒーローのお話し。高校手話部の仲間達と一緒に、自分達らしくコメディで明るいお話を届けします！！！

[コメント・プロフィールなど]

川上天馬(大学生)

「UD DANCERS JAPAN」メンバーとしてABEMA TV「Japan's Got Talent」に出演。高校の手話部との交流をきっかけに自身も劇中に出演している。

聴覚障害者情報提供施設部門(3作品)



愛媛の観光スポット チ紹介

愛媛県視聴覚福祉センター
森 朝子／愛媛県
12分16秒/2023年

[テーマ]

愛媛の観光地を2つ ご紹介します！

[作品内容]

しまなみ海道を一望できる「亀老山展望公園」、古い街並みが残る「内子町」。

愛媛の観光スポットを、2つご紹介します。

[コメント・プロフィールなど]

初めて参加します。よろしくお願いします。

ろう文化を描き続ける アーティスト 柏木信博

千葉聴覚障害者センター
近藤玄隆／千葉県
10分00秒/2023年

[テーマ]

情報提供施設で働きながら、ろう文化を描き続けるアーティスト

[作品内容]

画家として日展入選、3年間スペインで修行し、黄綬褒章賞等を受賞。大型テーマパーク等の美術スタッフを経て千葉聴覚障害者センターの美術制作、施設管理、農業支援、若いろう者を育てる今の姿を紹介します。

[コメント・プロフィールなど]

自分で聴くテレビ「つつうらうら」「でんしゃ見見録」「地方の手話」「輝き人」「台風被害状況報告」「ちばの地名手話辞典制作ドキュメンタリー」等を制作。千葉ろう者劇団九十九の「赤い陣羽織」「いつでも どこでも だれにでも」「うらしましたろう」等を制作。

ろう者と聞こえる人が共に働くお店
ポップコーン専門店「ヘレン・ケラー」
～いつまでも若々しく笑顔で接客～

兵庫県立聴覚障害者情報センター
吉村真紀／兵庫県
9分30秒/2023年

[テーマ]

ポップコーン専門店「ヘレン・ケラー」

[作品内容]

兵庫県宍粟市にあるポップコーン専門店「ヘレン・ケラー」が、2023年1周年を迎えました。地域の人たちやお店で働く人たちの想いを紹介します。

オープニニア

深川勝三監督生誕100年記念企画 ~ろう映画の曙~

昭和時代のろう映像 『睦ニュース』とは

秘蔵映像の公開!



100th ANNIVERSARY
FUKAGAWA KATSUZO
1924-2024

深川 勝三 [映画監督]

1924年(大正13年)東京生まれ。官立東京聾啞学校(現筑波大学附属聴覚特別支援学校)卒業後、洋裁で生計を立てながら、神奈川県の各ろう学校卒業生達とろう劇団「東扇座」を結成し、「ハムレット」の主演及び演出を執った。その後、日本初のろう映画制作集団「睦聾啞映画演劇研究会」を立ち上げ、8ミリ白黒フィルムによる長編映画「樂しき日曜日」(1961年)、「三浦浩翁半生記」(1962年)、未完成の「たき火」を制作。昭和60年2月11日膜下出血のため逝去。享年60歳。



大館 信広 [映画監督]

1959年7月16日生まれ。神奈川県横浜市戸塚区在住。ろう映画制作「デフムービーエンターテインメント プロディア」代表。認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」ディレクター&カメラマン。「おおだて監督のコーナー」番組を制作。「第20回さがの映像祭」審査員及び特別企画ゲスト。深川勝三生誕100年記念プロジェクト実行委員会 プロデューサー。



聾啞の映画監督『深川 勝三』

1924（大正13）年、東京生まれ。3歳のとき発熱で脳膜炎にかかり失聴。

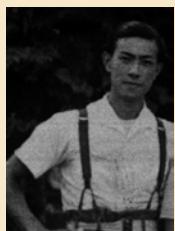
東京聾啞学校（現：筑波大学附属聴覚特別支援学校）に入学。卒業後は、母校の洋裁科助手となり、ろう有志による劇団「東扇座」を結成。

1958（昭和33）年、知人から依頼を受け、神奈川県ろう団体のアトラクション劇「ハムレット」の演出に采配を振り、3時間の上演をこなし、観客から大きな反響を得る。その後、「ハムレット」の出演した有志や関係者と共に「睦聾啞映画演劇研究会」を発足。

1960（昭和35）年、8ミリフィルム長編映画「楽しき日曜日」の製作。ろう者自らの手による長編劇映画としては世界初とされる。次のろう偉人伝「三浦浩翁半生記」は前編、後編、完結編合わせて7時間に及ぶ大作を製作。

1968（昭和40）年、「たき火」製作発表をするが、撮影開始前に体調を崩し、入院を繰り返したもの撮影終了後は再度体調悪化。未完成のまま、以後の映画制作は途絶えてしまう。

1985（昭和60）年2月11日、くも膜下出血により自宅にて逝去。生涯独身で享年61歳。



東扇座時代
1948（昭和23）年頃



「楽しき日曜日」ロケ現場
1960（昭和35）年



「たき火」ロケ現場
1967（昭和42）年



晩年
1982（昭和57）年



深川家之墓
總持寺（横浜市）



睦聾啞映画演劇研究会

1960（昭和35）年1月7日、ろう者有志が集い、映画活動を目的とした「睦聾啞映画会」を結成。3月6日より健全な運営を図るために「睦聾啞映画演劇研究会」と改名した。会員は約30名。深川監督のご逝去により、会の運営は自然に消滅してしまい、30年以上も行方知れずとされた。



【『睦』（むつみ）会名の由来】

咲花義治氏の妻がいつまでも仲睦まじくと願ったことから命名。フィルムのシルエットと睦の字に組み合わせたデザイン。マークのデザインは咲花義治氏。



睦ニュース

昭和時代の映画館で上映されたニュース映画の聾啞版として、30本以上製作された。1962年から1972年までの間、睦聾啞映画演劇研究会の行事や深川監督の家族らを自ら撮影した記録など、全て8ミリフィルムカメラで撮り、メインタイトルは「睦ニュース」、サブタイトルは見出しや短い文章をつけていた。ろう者の手で撮る本格的なニュースは、聾史としては貴重な映像である。



「5ヶ月ぶりに理容」
1962（昭和37）年6月



「黒門会館で一周年記念発表会」
1962（昭和37）年11月18日



「台湾漫遊」
1966（昭和41）年10月28日～11月9日

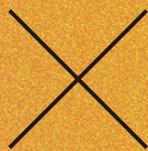
シネマトーク

「ろう者と映画」

映画『LOVE LIFE』

映画監督

深田 晃司

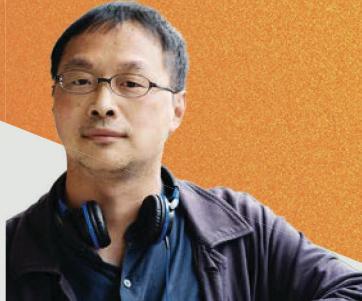


映画『ジンジャーミルク』

映画監督

今井 ミカ

山本 茉由美 [ファシリテーター]



深田 晃司 [映画監督]

1980年生まれ。99年映画美学校に入学。10年『歓待』が東京国際映画祭日本映画「ある視点」作品賞、プチョン国際ファンタスティック映画祭NETPAC(最優秀アジア映画賞)受賞。13年『ほとりの朔子』でナント三大陸映画祭グランプリ&若い審査員賞をダブル受賞。18年フランス芸術文化勲章「シュバリエ」受勲。16年『淵に立つ』で第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門審査委員賞受賞。直近の公開作に『本気のしるし』(劇場版)(20)、『LOVE LIFE』(22)など。22年黒澤明賞受賞。

今井 ミカ [映画監督]

映画監督。第一言語が日本手話のろう者。ノンバイナリー。大学卒業後、香港で2年間手話言語学を学ぶ。2018年映画『虹色の朝が来るまで』を制作、翌年劇場公開。2021年制作の『ジンジャーミルク』で、映文連アワード優秀賞、うえだ城下町映画祭大賞、TAMA NEW WAVE特別賞を受賞、イギリスFragments Festival2023最優秀賞受賞。日本科学未来館の日本手話と日本語による案内動画や常設展示「ノーベルQ」の手話映像制作を手がける。CM制作や手話・ろう監修においても活躍中。

山本 茉由美 [ファシリテーター]



Deaf LGBTQ Center代表、ろう者。ろう幼児をもつ親の支援について研究、兵庫教育大学大学院博士前期課程修了。2015年～17年、ギャロデット大学(米国)で「ろう×LGBTQ+学」専攻。「ろう×LGBTQサポートブック」や「多様な性をあらわす手話表現」の制作や発信、ろう×セクシュアルマイノリティ全国大会(～第5回)や東南アジアろう×LGBTQ会議2021の運営などインクルーシブなろうコミュニティづくりをめざして活動している。映画鑑賞はセルフアドボカシーのひとつ。

2023年度第20回さがの映像祭 映像作品コンクール

本映像祭では、【ろう者・難聴者が視覚的に理解できる20分までの短編作品】をエントリーの条件としています。第12回開催からは、「深川勝三・睦賞」を新設し40歳以下のろう者・難聴者の監督が制作する作品を対象に審査会で選ばれます。

「一般部門」「学生部門」「情報提供施設部門」それぞれより作品を募り、審査を経て大賞、優秀賞、奨励賞などを選出し映像祭にて表彰いたします。

大賞

優秀賞

奨励賞

学生部門優秀賞

学生部門奨励賞

深川勝三・睦賞

審査員(五十音順)

池田 和生

元KBS京都放送ディレクター

大館 信広

第20回さがの映像祭作品コンクール審査委員長
映画監督
デフムービーエンターテインメントプロディア代表

金山 智子

情報科学芸術大学院大学教授

蒲原 敏光

一般社団法人京都府聴覚障害者協会
劇団あしたの会

早瀬 憲太郎

映画監督

山本 芙由美

Deaf LGBTQ Center代表



歴代受賞作品

2004年度 聴覚障害者映像フェスティバル in さがの（第1回）

- 【聴覚障害者映像大賞】「あきらめないで」
東京都立大塚ろう学校小学部手話クラブ
【さがの映像大賞】「ユニバーシティ・ライフ」今村彩子（愛知県）
【全日本ろうあ連盟理事長賞】「デフ・ロード」那須英彰（東京都）
【全日本難聴者中途失聴者団体連合会理事長賞】
「支えあってバリアフリーの社会へ」
京都市聴覚言語障害センタービデオ担当
【CS障害者放送統一機構理事長賞】「マル」伊藤徹也（大阪府）
応募数：17作品

2005年度 第2回さがの聴覚障害者映像祭

- 【聴覚障害者映像大賞「紡げ！絆を！」】
筑波大学付属聾学校高三学年会（千葉県）
【さがの映像大賞】「狐の音」マプロ（東京都）
【CS障害者放送統一機構理事長賞】「ケロ太くんの一日」
伊藤徹也（大阪府）
【全日本ろうあ連盟理事長賞】「ありがとう」今井美香（群馬県）
【全日本難聴者中途失聴者団体連合会理事長賞】
「バリアフリーのまちを願って」高木良夫（愛知県）
応募数：13作品

2006年度 第3回さがの障害者映像祭

- 【フィクション部門賞】「カンボジアの風」早瀬憲太郎（神奈川県）
【ドキュメンタリー部門賞】「ありがとう余部鉄橋」水野秀章（兵庫県）
【学生部門賞】「戌」東京都立大塚ろう学校、佐藤剛史（東京都）
応募数：7作品

2007年度 第4回さがの障害者映像祭

- 【奨励賞】「ネットと呪いと友だちの部屋」伊藤徹也（大阪府）
【奨励賞】「リアル夢乙ドリンクCM」関一哉（群馬県）
【審査員特別賞】「絆～きずな～」今井美香（群馬県）
※【大賞・部門賞】なし
応募数：8作品

2008年度 第5回さがの障害者映像祭

- 【最優秀賞】「コーダ」松谷琢也（奈良県）
【優秀賞】「足」伊藤徹也（大阪府）
【優秀賞】「手話刑事」劇団あしたの会（京都府）
【奨励賞】「未来学生（The future student）」未来学生@S G U
【奨励賞】「ブランズ・ポット」齋真希・隅田原匠・又木未舞・春山未佳
【審査員賞】「DREAMS」神奈川県立平塚ろう学校
応募数：6作品

2009年度 第6回さがの障害者映像祭

- 【最優秀賞】「20年目のプロポーズ」松谷琢也（奈良県）
【ドラマ部門 優秀賞】「SPRING」SPRING映画制作委員会（東京都）
【ドキュメンタリー部門 奨励賞】「あなたが裁判員になったら」
千葉聴覚障害者センター（千葉県）
【アニメ部門 奨励賞】「配られたナイフ」伊藤徹也（大阪府）
【ろう学校部門 奨励賞】「アンドロイド サク」
静岡県立沼津聴覚特別支援学校映像グループ
【ドラマ部門 佳作】「サテンの女」勝山靖子（京都府）
応募数：8作品

2010年度 第7回さがの聴覚障害者映像祭

- 【最優秀賞】「僕と彼女と碁盤の幽霊」伊藤徹也（大阪府）
【優秀賞】「一期一会」馬場博史（大阪府）
【特別賞】「人形アニメーションで学ぼう 千葉の地方手話」
千葉聴覚障害者センター（千葉県）
応募数：9作品

2011年度 第8回さがの聴覚障害者映像祭

- 【最優秀賞】「The Chase ~おいかけっこ~」
岩田直樹（和歌山県立和歌山ろう学校）
【優秀賞】「その人と、みかん。」伊藤徹也（大阪府）
【優秀賞】「紡ぐ TUMUGU」手話舞台「箱！」（京都府）
【奨励賞】「とある若ろう者の恋活」富山県聴覚障害者協会青年部
応募数：7作品

2012年度 第9回さがの聴覚障害者映像祭

- 【さがの聴覚障害者映像祭 大賞】「時のいたずら」
富山県聴覚障害者協会 富聾映
【特別部門 優秀賞】「森の中の大きな冒険」岐阜県立岐阜聾学校
【フィクション部門 優秀賞】
「ちょっと待った！手話での会話のマナー」千葉聴覚障害者センター
【フィクション部門 奨励賞】「同窓会」松谷琢也（奈良県）
応募数：7作品

2013年度 第10回さがの聴覚障害者映像祭

- 【大賞】「ヤドリギ」27+3=
- 【優秀賞】「御室物語」聾宝
- 【奨励賞】「小さな5つの物語」伊藤徹也
- 【奨励賞】「今、僕は死ぬことにした」牧原依里
- 【学生部門優秀賞】「逆転世界」Tsukuba Deaf Movie
- 【会場特別賞】「御室物語」聾宝
- 応募数：7作品

歴代受賞作品

2014年度 第11回きょうと聴覚障害者映像祭

【大賞】「つながる more more」聾宝（京都府）
【優秀賞】「母の手」長崎県聴覚障害者情報センター
【奨励賞】「Walk Together -いっしょに歩こう」
サベルグろう学校JHS-3（ガーナ）
【学生部門優秀賞】「GHOSTORY ~幽靈と失われた光~」
横浜市立ろう特別支援学校
【深川勝三・睦賞】「頭を交換」伊藤徹也（大阪府）
【会場特別賞】「つながる more more」聾宝（京都府）
応募数：10作品

2015年度 第12回さがの映像祭

【大賞】「ゆいまーる寺子屋 聴覚障害児のための居場所」
小渡佑希子（沖縄県）
【優秀賞】「それいけくいしんば 兼六園・広坂界隈」石川県聴覚障害者センター
【奨励賞】「吃音と共に」京都市聴覚言語障害センター
「チャップリンからの伝言」松谷琢也（奈良県）
【深川勝三・睦賞】
「ゆいまーる寺子屋 聴覚障害児のための居場所」小渡佑希子（沖縄県）
【会場特別賞（参加者投票による賞）】3点
「気づき～みんな何かできる～」NPO DAIWA-ya（ダイワヤ 大阪府）
「チャップリンからの伝言」松谷琢也（奈良県）
「ゆいまーる寺子屋 聴覚障害児のための居場所」小渡佑希子（沖縄県）
応募数：10作品

2016年度 第13回さがの映像祭

【大賞】「パラトライアスリート 中田鈴子選手」
京都市聴覚言語障害センター・京都府聴覚言語障害センター 番組チーム
【優秀賞】「父」今井彰人（東京都）
【奨励賞】「私の大切な孤独」伊藤徹也（大阪府）
「夏原さんのひょううたん」滋賀県立聴覚障害者センター
【学生部門奨励賞】「琉球聲太鼓」小渡佑希子・長田敦希（沖縄県）
【深川勝三・睦賞】「父」今井彰人（東京都）
【会場特別賞（参加者投票による賞）】「父」今井彰人（東京都）
応募数：14作品

2017年度 第14回さがの映像祭

【大賞】「国の選択無形民俗文化財『七夕綱』を作る地域で生きるろう者」
熊本県聴覚障害者情報提供センター
【優秀賞】「日本語のない男」手話あらん（東京都）
【奨励賞】「毎日登山 いつまでも～山村賢二さん～」
兵庫県立聴覚障害者情報センター
【学生部門奨励賞】「授業まであと5分」同志社大学障がい学生支援室（京都府）
【深川勝三・睦賞】「日本語のない男」手話あらん（東京都）
【会場特別賞（参加者投票による賞）】
「人物素描～小畠由佳理～」聾宝手話映画（京都府）
応募数：16作品

2018年度 第15回さがの映像祭

【大賞】「やればできる あきらめない～神戸ろう太鼓集団 鼓神
水野洋子さん～」兵庫県立聴覚障害者情報センター
【優秀賞】「時間がとまった2人」松谷琢也（奈良県）
【奨励賞】「平本龍之介のインド旅行記」瀧本大介（福岡県）
【学生部門奨励賞】「異次元BOX」石川県立ろう学校 中川涼介
【会場特別賞（参加者投票による賞）】「ゆうあい」聴結び（兵庫県）
※【深川勝三・睦賞】なし
応募数：14作品

2019年度 第16回さがの映像祭

【大賞】「いつでも東京湾と生きていた 生涯現役 三辻康一」
千葉聴覚障害者センター
【優秀賞】「静かなクリスマス」
シネマウント・フィルム・パーティー（千葉県）
【優秀賞】「カウント・ラプソディ」棚橋瑛梨（千葉県）
【奨励賞】「絆大作戦」京都府立聾学校中学部2年
※【深川勝三・睦賞】なし
応募数：17作品

2020年度 第17回さがの映像祭（作品コンクールのみ）

【優秀賞】「クビナシ」伊藤徹也（大阪府）
【奨励賞】「聾教育資料室に貴重な歴史的資料があった！
～岩手県立盛岡聴覚支援学校をたずねて～」
岩手県立視聴覚障がい者情報センター
【学生部門賞】「ブーブークッションを仕掛けただけなのに」
石川県立ろう学校
※【大賞および深川勝三・睦賞】なし
応募数：12作品

2021年度 第18回さがの映像祭（オンライン開催）

【大賞】『てとて』MiCHi
【深川勝三・睦賞】『Mr.D Team ODEN』
【優秀賞】『手話と平和を愛したマイスター～櫻澤加津人～』
千葉聴覚障害者センター
【奨励賞】『共生～新たな世界への一歩～』青森県立青森聾学校 高等部
応募数：13作品

2022年度 第19回さがの映像祭（オンライン開催）

【優秀賞】『カクヒト』伊藤徹也
【奨励賞】『障害者週間 亀岡市 福祉都市宣言40周年』
～手話でつなぐ！亀岡のええとこ！～
亀岡市障がい福祉課（田中 勇吾）
【学生奨励賞】『つなぐ』広島県立広島南特別支援学校
※【大賞および深川勝三・睦賞】なし
応募数：10作品

各年度の詳細な開催情報はこちら

<https://www.com-sagano.com/kensyu/sagano-movie/sagano-archive/>



特別上映



上映作品『ジンジャーミルク』

○あらすじ

「自分はゲイかも」と玲衣は友人の健斗にカミングアウトされる。2020年4月コロナ禍で緊急事態宣言が発令され、生活の変化を強いられながらも、大学生活を送るろう者と聴者の4人の姿を描く。彼らの甘くて辛い想いが交差した複雑な四角関係を綴るヒューマンドラマ。

○出演・スタッフ

出演:宮岡直紀、玲央、中嶋秀人、岡林愛

監督・脚本・編集:今井ミカ

助監督:牧原依里

撮影 大橋光・棚橋瑛梨

録音 大木洵人

美術 有澤智子・中川恵美

音楽:門傳一彦.

○その他 情報

2021年 / 日本 / 日本手話・日本語 / 英語字幕・日本語字幕 / 60分

○受賞歴

・うえだ城下町映画祭第20回自主制作映画コンテスト大賞（2022年11月12日 長野県上田市犀の角、2022年11月19、20日 長野県上田市マルチメディア情報センターにて上映）

・映文連アワード2022 パーソナル・コミュニケーション部門 部門優秀賞（2022年11月30日ユーロライブにて上映）

・第23回 TAMA NEW WAVEコンペティション 特別賞（2022年11月19日 多摩市ヴィータホールにて上映）

〈監督プロフィール〉

今井ミカ(映画監督)

群馬県伊勢崎市出身。第一言語は日本語と異なる日本手話。ろう者でノンバイナリー。2018年映画『虹色の朝が来るまで』を制作、翌年劇場公開。2021年『ジンジャーミルク』制作、翌年映文連アワード受賞、第23回TAMA NEW WAVE特別賞、うえだ城下町映画祭第20回自主制作映画コンテスト大賞。CM制作や手話監修など。

公式サイト: <https://mika-imai.com>



さがの映像祭の最新情報はWEBサイトで！



オフィシャルグッズ



さがの映像祭 応援マスキングテープ [数量限定]

会場にて限定販売中！

※在庫限り。売り切れ次第販売終了となります。 [1個/税込] **¥350**

コラム



この手のシンボルは…？

手話で「ビデオカメラで撮影する」を表す際の一部の手の形です。手話とは異なる見方をすれば「(映画を)うつす」にもなり、「光を照らす」表現にも見えます。ろう者・難聴者の制作するビデオ作品と制作者にスポットをあて、新たな才能へ広がっていく意味も込められています。実際の「ビデオを撮る」「ビデオをうつす」「光を照らす」の手話表現は身近なろう者に聞いてみてください。

お問い合わせ先

さがの映像祭実行委員会 事務局
(社会福祉法人全国手話研修センター)
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646
メール:sagano.eizo@com-sagano.com



WEBサイト



Instagram



Facebook

TIME TABLE

タイムテーブル

2024/2/11 (日) 13:00~OPEN

対面会場&オンライン

13:00

13:05~

第①部

深川勝三生誕100年記念企画
～ろう映画の曙～

オープニング
「昭和時代のろう映像
『睦ニュース』とは」
解説:大館信広

秘蔵映像の公開!



深川 勝三 大館 信広

13:30

14:00

14:00~

第②部

映画
『LOVE LIFE』

シネマトーク

映画
『ジンジャーミルク』

「ろう者と映画」

ファシリテーター／山本茉由美

映画監督
深田晃司

映画監督
今井ミカ



14:30

15:00

15:15~

第③部

第20回映像作品コンクール
受賞発表・受賞式

大賞作品の上映

16:00

16:30

16:20~

特別上映

※対面会場のみ

映画
「ジンジャーミルク」



17:00

17:30

※当日のスケジュールは予告なく変更する場合があります。